



子育て通信 かなりや

発行 第307号 2021. 5. 1.

時津町子育て支援センター『こぼとの家』
長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 1000-10
支援センター TEL095-882-7455
保育園 TEL095-882-4559
FAX095-882-4910
ホームページ
<http://www.togitsukobato.jp>

『Life goes on』

時津こぼと保育園
園長 嘉村 望

たとえどんな時でも繋がっているさ
風に耳を澄ませれば 聴こえてくるんだほら
約束の空の下でまたいつか
笑って会えるその日まで
終わらないメロディーと
終わらない Life goes on

あの日の空 描いた理想と
希望の灯りはねえ 今でも
消えてないでしょ？
いつだってここにあるでしょ？

これまでもどんな不安や壁も
乗り越えて来た 僕らだから
信じてみたいよ
君とみる未来を

今は雨に降られ風に負け
そうだとってもほら同じだけ
また晴れる明日が来るから

Hey now
We gonna get together and sing out
The song that never ends
ほら世界が僕らを待っている

滲んだ空 在りし日の記憶
それでも絆は今も強く
変わってないでしょ？
今だってそこにあるでしょ？

これから起こりうる全てを
乗り越えた先にある景色は
今以上に
美しいはずだから

花のない花瓶に花束を
名もなき詩(うた)に小さな奇跡を
君が僕にくれたこと ずっと
ずっと忘れない

今は少し離れ孤独だって
目を閉じればいつでもきっと会える
大丈夫 ココロに君がいる

『Life goes on』
詞：平井 大

新年度が始まって1か月が経過し、新しい環境にも慣れて少しずつ自分が興味あることを見つけ出して遊ぶことができるようになってきた頃ではないでしょうか。

感染力が高いとされる変異型コロナウイルスが拡大し、小さな子どもたちにも感染しやすい特徴があると言われています。

ゴールデンウィークは、県外の実家へ帰省したり、旅行やレジャーを楽しめるはずでしたが、昨年引き続き、不要不急の外出自粛や感染者が多い都市では、緊急事態宣言が出され、また不自由な生活になりました。

小さなお子さんがおられるご家庭では家の中で閉じ込めただけではフラストレーションが貯まってしまいますね。

私も県外に住んでいる孫とは、なかなか会えず、Face Timeを利用して顔を見ながらおしゃべりするのが楽しみになりました。

親子で楽しむことを見つけながら子育ての事で一人で悩まないよう、LINEや電話や自分に合った方法で、友だちや知人、両親と悩みを共有し、繋がって不安な気持ちを解消できるといいですね。

子ども同士のけんかの対応

幼稚園や保育園の集団での経験が増えてくるとけんかの内容も複雑になってきます。仲間はずれをしたり、友だちに意地悪を言ったりすることもあるでしょう。

「子ども同士のけんかにどう対応したらいいのかしら？」と悩む保護者の方も多いと思います。けんかして「〇〇ちゃんがー！」と泣いて帰ってきたら、心配になるのが親心。そんなときの対応についてのヒントにして下さいね。

親と一緒に怒った場合

まあ！
なんて子！
ひどいわ！

〇〇ちゃんが〜

あやまってもらいなさい

ほんとに
〇〇ちゃんは…

けんかへの
こだわり

相手の子への憎しみ、
こだわり

子どもと同じレベル
で怒っている

子どもの気持ちに共感することは大切ですが、子どもと同じレベルで怒るのはあまり大人気ないものです。

子どもの気持ちに共感した場合

そう
いやだったね

痛かったね

とっても
くやしかったねえ

〇〇ちゃんが〜

あそぼー！

ケロッ

いろんな人と関わるこ
とのできる力が育つ

大人としての見通しをもちながら、
子どものきもちに共感

話を聞いて一晩寝れば、翌日はケロッと仲直りができるのが幼児期です。子どもは自分で乗り越える力を獲得できます。
*度が過ぎたものに対しては、大人としての対応も必要です。

友だちと遊んで、けんかをして、泣いて、苦しむことは一人前の人間になるために必要なこと。小さい時のその経験を取り上げてしまったら、子どもは人間関係を築く時期を逃してしまうことになります。

参考文献「ひだまり通信」
著：高山静子

《子どもたちに人気の絵本》



「じゃあじゃあびりびり」
作：まつのりこ

あかちゃんの「最初の本」として大人気です。

「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」

「いぬ わん わん わん わん」

「みず じゃあ じゃあ じゃあ」

「かみ びり びり びり びり びり びり」

真っ赤でコンパクトなサイズに、たくさんの“音”が詰まっています。

1つの見開きページに、1つの音。

シンプルで目をひく絵はもちろん、文字の配置場所もたのしい。

たとえば、かみびりびり・・・のページは、ほんとに「びりびり」と裂けた紙の形に似た配置。

文字と絵の効果で、まるで絵がうごきだしそうに見えます。

金魚鉢にきんぎょがいっぱい。

…あ、きんぎょがにげた！

いったいどこに逃げたのでしょうか。どうやら、お部屋のカーテンの模様には隠れているみたい！？ 見つけたと思ったら、また逃げ出したよ。

きんぎょは見つけたそばから、部屋から部屋へ、自由に逃げていきます

そして、最後には…！？

0歳の頃から、何年も繰り返し読み続けている子が多いというこの作品『きんぎょがにげた』は、なんと発売から40年も経つ、五味太郎さんの代表作の一つです。



「きんぎょがにげた」
作：五味太郎

図書貸し出し

子育て支援センターの絵本や、育児書などの貸し出しを行っております。子どもたちにたくさんの絵本とふれあうことができるようにご利用ください。「子どもに絵本を読んであげたいけど…。どんな本がいいのかしら…」などとお悩みのときは、スタッフと一緒にお子さんに合わせた絵本を選ぶこともできますので、お気軽に声をかけてくださいね。

